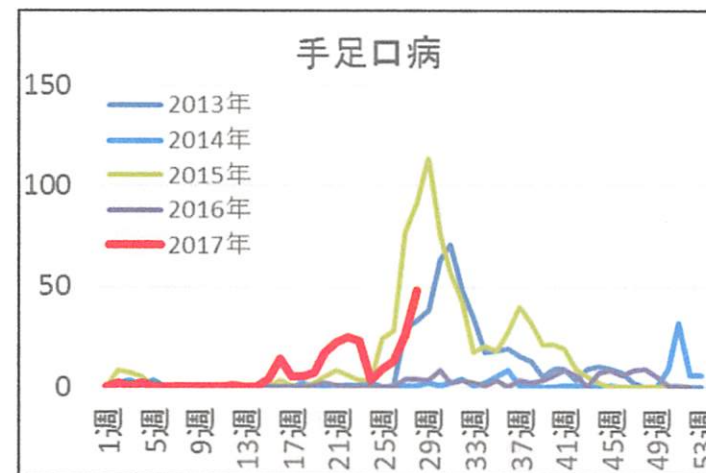
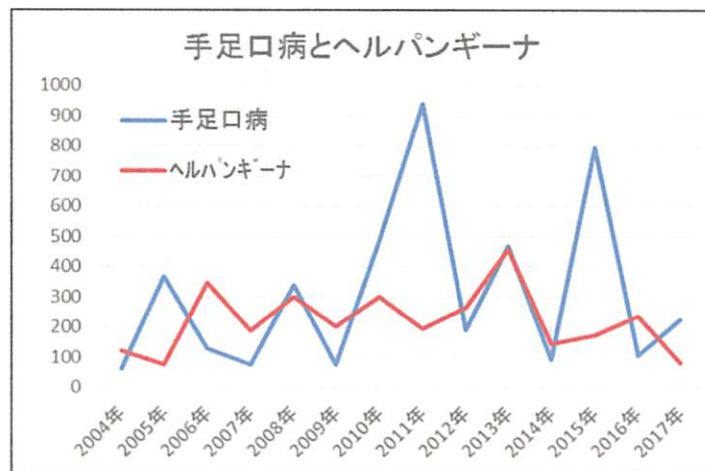


週間感染症情報

2017年28週 2017年7月10日より2017年7月16日まで

麻疹	
風疹	
水痘(みずぼうそう)	2
ムンプス(おたふくかぜ)	2
百日咳	
溶連菌感染症	10
手足口病	48
ヘルパンギーナ	13
伝染性紅斑	
感染性胃腸炎	36
ロタウイルス(再掲)	
便アデノウイルス(再掲)	
突発性発疹	4
伝染性膿痂疹(とびひ)	16
ヘルペス性口内炎	1
アデノウイルス感染症	1
RSウイルス感染症	
マイコプラズマ感染症	
インフルエンザ(臨床診断含む)	
インフルエンザA	
インフルエンザB	
A+B	

小児科外来の患者さんは多くありません。全国的に手足口病が流行していますが、総社市内でも右下のグラフの様に報告が急激に増加しています。クラス内のほとんどの児が感染している施設もあります。感染源不明の在宅児もあり、総社市内にウイルスが蔓延してます。左下のグラフの様に手足口病は隔年で流行しています。今年は流行年です。乳幼児はきちんとした手洗いなど感染予防は困難ですので、クラス内のほとんどが感染して流行が終わりとなります。幸い合併症もほとんどない軽症の病気ですので、解熱してきちんと食事ができるようになれば登園できます。治癒後もウイルスは便の中に数週間排泄されますので、便の処理には注意して手洗いをしっかりしましょう。細菌性胃腸炎の報告が増えています。病原性大腸菌O153、病原性大腸菌O125(ハンバーグ?)、サルモネラO7、が1例ずつありました。



(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 <http://miyaiinsoja.webmedipr.jp/>)